

三省堂 高校教科書ウェブサイトのご案内

令和4年度版 高等学校教科書のご案内

SSS D三省堂

令和4年度版新刊教科書の特設ページを展開中！

各教科書の特色の紹介，編集委員による解説動画，各種資料を掲載。
紙面やデータサンプル，QRコードコンテンツ体験版なども公開中。
追加の資料なども順次更新していきます！

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/hspr/>



CROWN
Logic and Expression I
編著者

横川 博一 よこかわ ひろかず
神戸大学

泉 美穂 いずみ みほ
神戸大学附属中等教育学校

今井裕之 いまい ひろゆき
関西大学

植木美千子 うえき みちこ
関西大学

小橋雅彦 こばし まさひこ
ノートルダム清心女子大学

里井久輝 さとい ひさき
龍谷大学

鳴海智之 なるみ ともゆき
兵庫教育大学

宮崎貴弘 みやざき たかひろ
神戸市立葺合高等学校

向井 透 むかい とおる
高槻中学校・高等学校

吉川大二郎 よしかわ だいじろう
立命館慶祥中学校・高等学校

Tim Greer ティム・グリア
神戸大学

Burch Alfred Rue
バーチ・アルフレッド・ルー
神戸大学

※所属は令和3年4月時点のものです。

三省堂

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411(編集)・9556(営業)
 ●大阪支社 〒530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎06(6341)2177
 ●九州支社 〒810-0012 福岡県福岡市中央区白金1-3-1 ☎092(531)1531

★ 教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

★ 英語教科書公式Twitter  @sanseido_eigo

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

CROWN

Logic and Expression I



■ ご案内

教科書への質問にお答えします！	1
教科書構成	2
文法学習	4
QRコード／デジタル教科書・教材	6
教科書ダイジェスト	8
指導書／教材	30
協業デジタル教材	32
年間指導計画一覧表	33

論 I 704

*この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書
発行者行動規範」に則って作成しています。

SANSEIDO

CROWN

Logic and Expression I

論 I 704 | B5判・152ページ

「2ステージ制」・各課「3ステップ構成」により、無理なく
「論理的な英語表現力」を身に付けることができる教科書です。
バラエティに富んだ現代的なトピックについて、
「やり取り」「発表」「書く」の3領域の力を伸ばします!

「CROWN論理・表現」の3つの柱

- 1 各課を3領域の5つの活動別(スピーチ, プレゼンテーション, ディスカッション, ディベート, ライティング)に分けた, 学習しやすい
「教科書構成」…………… pp. 2-3
- 2 基礎から発展まで, 活動へつながる
「文法学習」…………… pp. 4-5
- 3 授業と学びを支える
「QRコード／デジタル教科書・教材」…………… pp. 6-7

「論理・表現」の教科書に対するご質問にお答えします!

Q: 「論理・表現」の授業はどのように進めたらよいですか?

A: 「CROWN 論理・表現 I」は毎時間**授業でやるべきことが明確な**教科書紙面です。紙面に沿って進めれば, 「**コミュニケーション活動**」と「**文法指導**」の両方がスムーズに行えます。(→本内容解説資料 pp.2-3)

Q: どのような「コミュニケーション活動」が用意されていますか?

A: 教科書全体が, 大きく STAGE 1と2に分かれた構成になっています。それぞれの STAGE は **5つの活動(スピーチ, プレゼンテーション, ディスカッション, ディベート, ライティング)**から構成されており, STAGE 2では STAGE 1よりレベルアップした活動に取り組みます。1課の中では **READY→GET→USE**の段階を**踏んだ流れ**の中で, 無理なく活動が行えます。(→同 pp.8-9「もくじ」, 11-18)

Q: この教科書で「文法」の指導もできますか?

A: 「CROWN 論理・表現 I」では, 習得から活用につながる「**文法シラバス**」がしかれています。課の **Grammar Focus**では, 精選された文法項目が簡潔な説明と例文で示され, さらに確認問題と自己表現活動が用意されています。巻末付録の「**表現のための文法**」では, さらに多くの文法項目を扱い, 入試に対応できる力を身に付けることができます。(→同 pp.4-5, 18, 24)

Q: どのような題材が取り上げられていますか?

A: 日常生活, 学校生活, 生き方, 旅行, 科学, 環境問題, 芸術, 社会活動, 世界遺産, 日本文化など, 日常的话题から社会的な話題へと, 広い視点から生徒が自分の**意見や考えを出しやすいテーマ**が選ばれています。(→同 pp.8-9「もくじ」)

Q: 教科書以外にはどのようなものが用意されていますか?

A: 豊富なサポート資料が用意されています。生徒の自立的学習を支える豊富な資料にアクセスできる**QRコード**や, 授業で使える多彩な**ワークシート**, **提示用パワーポイント**など, 活動的な授業がスムーズに行えます。(→同 pp.6-7, 30-31)



1. 各課を5つの活動別に分けた学習しやすい「教科書構成」

- 課の基本的な構成は、「**1 導入 (READY)** ⇒ **2 インプット (GET)** ⇒ **3 アウトプット (USE)**」の「**3ステップ構成**」となっています。
- **3 アウトプット (USE)** では、課ごとに、**5つの活動 (スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、ライティング)** のうちの1つにフォーカスします。

教科書内では、以下のようなアイコンで活動内容を示しています。



● 本課 (LESSON 1-10)

1 導入: READY



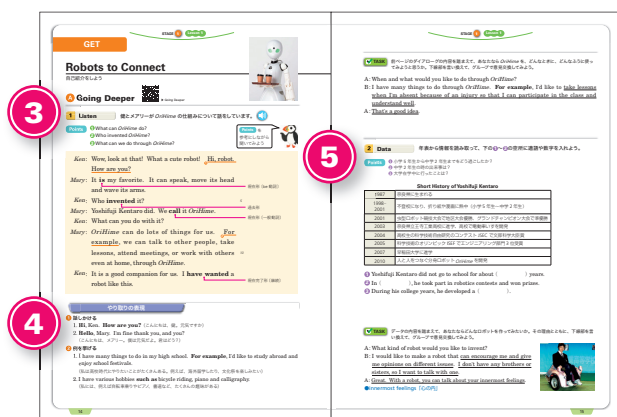
1
2

課のテーマについての導入

- 1 テーマについてのやり取り**
テーマについての簡単なやり取りを行い、題材の導入をします。
- 2 テーマについてのリスニング**
本課に入る前にテーマについての知識や関心を高めます。

2 インプット: GET

やり取り中心

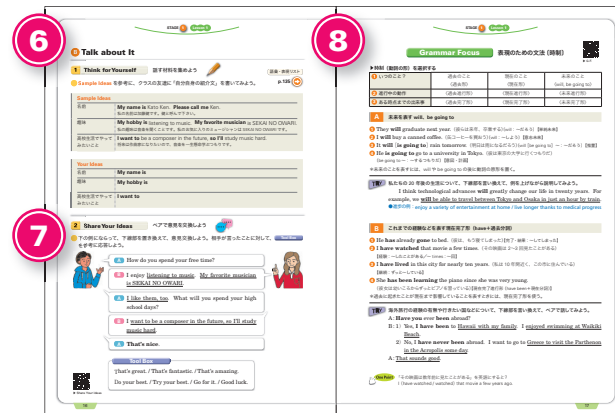


3
4
5

USEでの活動のための知識や情報のインプット

- 3 モデル文**
文法事項や機能表現が含まれたやり取りのモデル文を導入します。
- 4 やり取りの表現**
やり取りに使える表現を確認し、それを使って、テーマについてのやり取りを行います。
- 5 グラフや図表**
テーマに関するグラフや図表から情報を読み取り、それについてのやり取りを行います。

2 GETの続き



6
7
8

6 やり取り活動の準備

課題について、モデルを参考にして、自分の意見や考えを整理します。

7 やり取り活動

6で準備した内容をもとに、ペアで意見交換を行います。

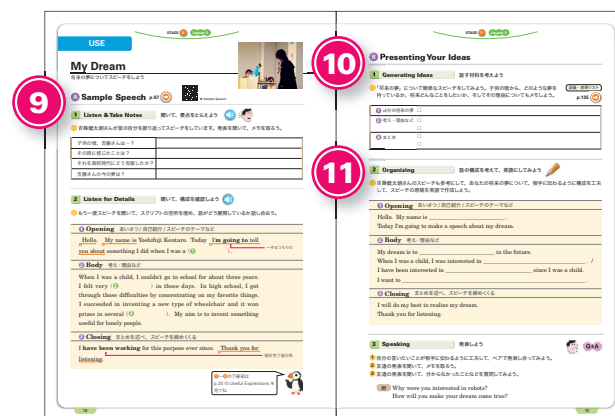
8 文法の確認と

それを使った自己表現活動

GETのモデル文で扱った文法事項を、例文とともに確認し、活用へつなげます。

3 アウトプット: USE

5つの活動のうちの1つにフォーカス



9
10
11

課の最終目標となるアウトプット

9 活動のモデル文

この課で行う活動のモデルを聞き、要点と構成を確認します。

10 活動の準備

課題について、自分の意見や考えを整理します。

11 活動

10で準備した内容をもとに、それぞれの課の活動を行います。

12 音声指導

この課で使った語彙や文について、音声面での確認を行います。

13 活動に役立つ表現

この課のUSEの活動で使える表現がまとめられています。

14 補充の活動テーマ

ミニ活動を行うための補充のお題です。

● 1レッスンの授業展開例

例1: 活動を中心に進める場合

- 1・2 時間目: READY, GET (6文法を除く)
- 3 時間目: 8文法の確認とそれを使った自己表現活動
- 4・5 時間目: USE

例2: 文法の導入を先に行う場合

- 1 時間目: 8文法の確認とそれを使った自己表現活動
- 2・3 時間目: READY, GET (8文法を除く)
- 4・5 時間目: USE

自己表現活動のためには、まずは文法の知識を**定着**させることが大切です。
体系的に文法の知識を習得し、**活用**につなげることができます。

コミュニケーションの核となる「文法」を、各課の **Grammar Focus** と巻末の「**表現のための文法**」の例文と解説、自己表現問題で、理解から活用へとつなげます。体系的な文法項目の学習ができ、入試対応も万全です。(文法のカリキュラムについては、「年間指導計画一覧表」もご覧ください)

付録D 表現のための文法

Lesson 1 時刻 (p. 13)

A 現在形

- ① **She is a student at a girls' school.** (彼女は女子高の生徒だ) (現在の状態)
- ② **I get up at 6:00 every morning.** (私は毎朝6時に起きる) (現在の習慣)
- ③ **The teacher told the children that water freezes at 0°C.**
(先生は子供たちに氷は0度で凍るんを教えた)
- (不変の事実・「発熱の1度」の例外、°C=degree(s) centigrade)

B 現在進行形 (be+現在分詞)

- ① **He is watching TV now.** (彼は、テレビを視聴している) (現在進行中の動作)
- ② **She is doing yoga these days.** (彼女は最近、ヨガをやっている) (現在の反復動作)
- ③ **They are living in temporary housing now.** (彼らは今、仮設住宅に住んでいる) (一時的な状態)

C 過去形/過去進行形 (was/were+過去分詞)

- ① **He liked a teddy bear when he was very young.**
(彼は幼い頃、ぬいぐるみのクマが好きだった) (過去の状態)
- ② **They started school early today.** (彼らは今日、学校を早退した) (過去の動作)
- ③ **They practiced after school every day before the tournament.**
(彼らは大会前は、毎日放課後に練習した) (過去の反復動作・反復動作)
- ④ **I was having dinner when she called me.** (彼女は電話をくれた時、私は夕食の最中だった)
- (過去進行形：過去のある時点で「進行中」継続中の動作)

D 未来を表す: will, be going to など

- ① **They will graduate next year.** (彼らは来春、卒業する) (will: ~だるう) 【単純未来】
- ② **I will buy a canned coffee.** (缶コーヒーを買おう) (will: ~しよう) 【意志未来】
- ③ **It will be going to rain tomorrow.** (明日雨が降るに定まる)
- ④ **He is going to go to a university in Tokyo.** (彼は東京の大学に行くつもりだ)
(be going to: ~するつもりだ) 【意図・計画】
- ⑤ **She is having a baby next month.** (彼女は来月、出産予定だ) (現在進行形: 計画・予定)
- ⑥ **The new term starts on April 9th this year.** (新学期は今年は4月9日から始まる)
(現在形: 既定された事実)

E 現在完了形 (have+過去分詞) (完了・結果)

- ① **He has already gone to bed.** (彼は、もう寝てしまった)
- (完了・結果: ~してしまつた) already: もう (既定文)
- ② **Have you finished lunch yet?** (もう昼食は済みましたか?) (yet: まだ (疑問文・肯定文))

119

- ・学習した文法事項を活用して、自分の身の周りのことについて英語で表現する活動が用意されています。

- ・指導書には『総合英語』の**対応ページ**を掲載します。

*紙面の PDF 版を教師用指導書に収録しています。

A large green circle with a white checkmark inside, indicating a correct answer.

STEP5

基礎

動名詞の基本用法

動名詞の目的語 動詞を doing にする

動名詞の修飾語

- 1) 文内で動名詞・動詞の両方を用いる。
- 2) 動詞の目的語に代わっている。練習問題、動詞をやることである。

過去

過去 過去 過去 現在 未来

1 動名詞の基本3用法

1. 生活とい

A *Playing tennis in advance is a good idea.*
試合の前のテニス練習はいいことだと思います。

B *Swimming overseas will broaden your horizons.*
海外旅行することによって長見聞が広がるだろう。

1. *He's doing a project until this evening.*

2. 動詞 playing は、目的語として *tennis*、動詞 (ing) を *doing* に advance を伴っている。

2. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

Camping in the mountains was a lot of fun.

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

3. 動名詞とい

A *My father's hobby is playing the electric guitar on weekends.*
父の趣味は週末にエレキギターを弾くことです。

B *My father's favorite pastime is going to karaoke.*
父の一番の趣味はカラオケに行くことです。

1. *She does a project until this evening.*

2. 動詞 playing は、目的語として *the electric guitar*、動詞 (ing) として *on weekends* を伴っている。

4. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

5. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

6. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

7. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

8. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

9. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

10. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

11. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

12. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

13. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

14. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

15. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

16. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

17. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

18. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

19. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

20. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

21. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

22. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

23. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

24. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

25. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

26. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

27. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

28. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

29. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

30. 動名詞が目的語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

31. 動名詞が主語になる場合 形式主語 *it* を使って言い換える。

It was a lot of fun camping in the mountains.
山でキャンプをするのはとても楽しかった。

3. 授業と学びを支える「QRコード／デジタル教科書・教材」

教科書各所に配置したQRコードやデジタル教材、ICTツールで、生徒の学習と先生の授業をサポートします。

※サンプルのご利用にはインターネット通信が必要です。掲載の画像はすべて開発中のものです。

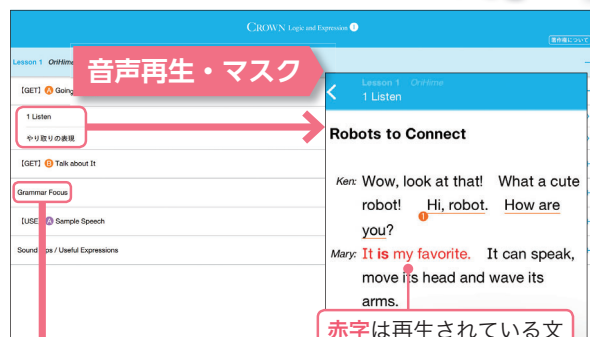


STUDENTS

学びをサポートするQRコード

教科書各所に配置したQRコードを、スマートフォンやタブレット端末で読み取ることで、学びを支えるさまざまなコンテンツをご利用いただくことができます。

サンプルサイト (Web)



スマートフォンでも
タブレットでも

赤字は再生されている文

役割や表現の
マスクが可能

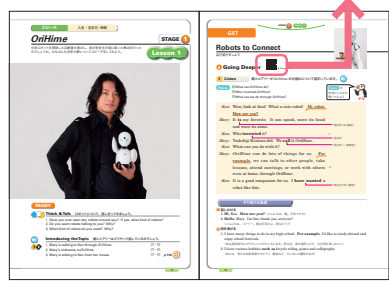
文法確認カード



覚えたものは
チェック！

QRコードを体験！

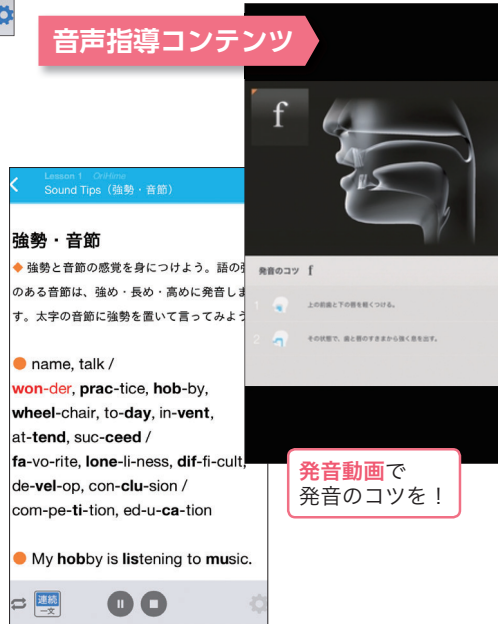
Web上のサンプルでさまざまな機能を体験できます。
(<https://tb.sanseido-publ.co.jp/tbqr/04-crown-le1/contents/>)



おもな機能(予定)

- 本文表示
- 音声再生 (本文、表現 など)
- 役割読み
- 役割・表現などのマスク
- 文法解説動画
- 文法確認カード (Grammar Focus)
- 活動モデル動画
- 発音動画 (Sounds Tips)

音声指導コンテンツ



発音動画で
発音のコツを！



TEACHERS

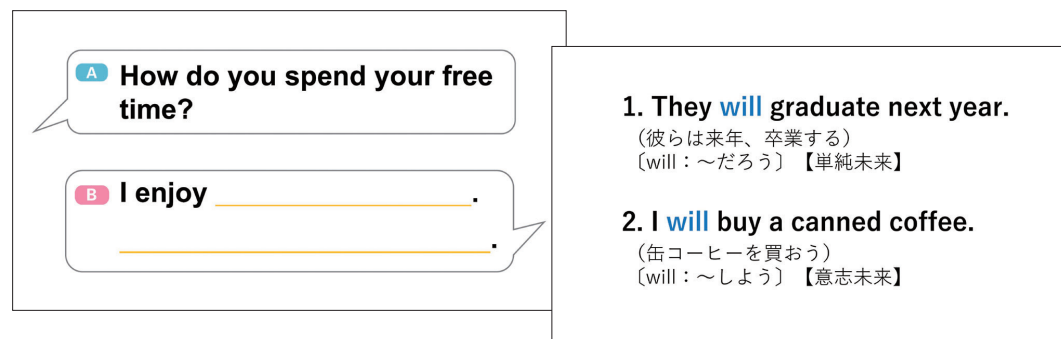
指導書に授業用パワーポイントほかICTツールを同梱

指導書に、授業で活用できる「授業用パワーポイント」、「自動問題作成プログラム」ほか各種ツールを同梱。さらに学校ごとの専用のサポートサイトを開設します。

⇒指導書の詳細は p.30 へ

① 授業用パワーポイント (音声付き)

効果的でテンポがよい「言語活動」と「文法指導」の両方ができる授業用のパワーポイントデータです。



② 自動問題作成プログラム

ワークブックほか多様な問題を利用して、簡単にテスト問題を作成することができます。

③ ことまな学校サポートサイト

学校ごとの専用サイトをご用意しました。補充データの提供からお問い合わせまで、先生方の日常に寄り添うサイトです。

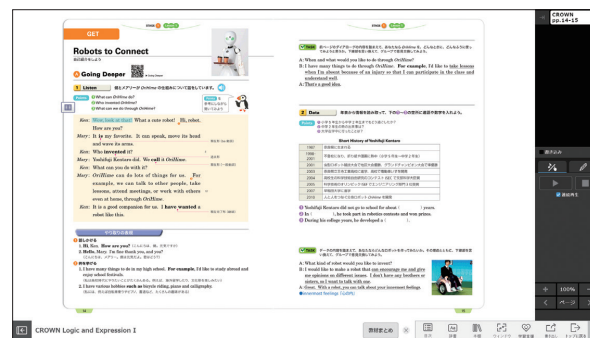
さらに「教科書紙面PDF」
「提示用デジタルコンテンツ」が付属！



STUDENTS

学習者用デジタル教科書・教材 [別売]

「一人一台端末」時代に対応した「学習者用デジタル教科書・教材」で、生徒の学びを深めます。



おもな機能(予定)

- 教科書紙面表示での音声再生
- 本文表示
- 音声再生 (本文、表現 など)
- 役割読み
- 役割・表現などのマスク
- 文法解説動画
- 文法確認カード (Grammar Focus)
- 活動モデル動画
- 発音動画 (Sounds Tips)
- 白黒反転表現 (バリアフリーに対応)

デジタル教科書・教材を体験！

Web上でデジタル教科書・教材の機能を体験できます。
(<https://tb.sanseido-publ.co.jp/digitaltext-hspr/>)



さらに…

パートナー企業／サービスとの連携で授業や学習をさらに深めます。⇒詳細は p.32 へ

本内容解説資料では囲みの部分を収録しています。

2ステージ構成

教科書全体をSTAGE 1, 2に分け、それぞれのSTAGEで5つの活動(スピーチ, プレゼンテーション, ライティング, ディスカッション, ディベート)を行います。STAGE 2ではレベルアップした活動でスパイラル学習ができます。

CONTENTS

身近で多様な題材

高校生にとって魅力的で発信しやすい題材をバラエティ豊富に用意しました。

本書の効果的な使い方

GET READY!

STAGE 1

→本内容解説資料 p.10

Lesson 1 OriHime

スピーチ

人生・生き方 / 時制



13

Lesson 2 Breakfast Makes Perfect → pp.11-18

プレゼンテーション

食生活と健康 / 助動詞



21

Lesson 3 Cool Japan

ライティング

日本文化 / 受動態



29

Lesson 4 Save Our Planet

ディスカッション

環境問題 / 不定詞



37

Lesson 5 Volunteer Work for What?

ディベート

ボランティア / 動名詞



45

STAGE 2

英語表現のまとめ 1

53

→ p.27

Lesson 6 Another Life I Might Have Had

スピーチ

文学・読書 / 分詞



55

Lesson 7 What Is Our Greatest Invention?

プレゼンテーション

サイエンス・発明 / 比較



63

Lesson 8 Discover Japan

ライティング

都市・観光 / 関係詞



71

Lesson 9 Urban Life or Rural Life

ディスカッション

交通・地域 / 仮定法

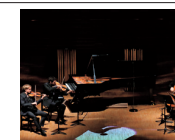


79

Lesson 10 Music Without a Pianist

ディベート

芸術・テクノロジー / 接続詞



87

英語表現のまとめ 2

95

Project 1 My Hobby: Bouldering [Speech]

97

Project 2 A Country I'd Like to Visit [Presentation] → pp.19-22

101

Project 3 Are Zoos Necessary? [Discussion]

105

Project 4 All Elementary School Students Should Have a Mobile Phone [Debate]

109

Project 5 E-Book Readers [Writing]

113

英語表現のまとめ 3

→ pp.23-26 117

5つの活動の詳細な解説:

Project ①～⑤

スピーチ, プレゼンテーション, ライティング, ディスカッション, ディベートについて、それぞれ解説と例を示し、詳細に扱いました。各課の活動を行う中で、随時参照することができます。

付録

① 表現のための文法 → p.28 119

② 音声スクリプト: Introducing the Topic 133

③ 語彙集 (Vocabulary) → p.29 135

④ 英語の句読法 (Punctuation) 145

⑤ 英語表現のまとめ [解答] 147

⑥ 索引 (Index) 148

中学校との接続

巻頭にはGET READY! を設けました。文型や品詞などの知識の整理や、表現力の高め方などを扱い、高校での学習の準備ができるようになっています。

GET READY!

2 表現（スピーキング・ライティング）のステップ

私たちが日常生活の中で話したり、書いたりするときは、頭の中でどのようなことを行っているのでしょうか。大きく分けて、次の3つのステップを踏んでいます。このステップを意識して、いろいろなことを考え、表現してみましょう。

STEP 1

プランニングする

言いたいこと・書きたいことを計画しよう

- 場面や状況は？（クラスで「将来の夢」についてスピーチする）
- どんなことを言う？（①将来になりたいもの、②何をやりたいか、③そう思ったきっかけ）

STEP 2

形にのせる

言いたいこと・書きたいことを形にしよう

- どんな語彙が必要か？
- 何を主語にして述べるか？（情報の流れ）
- 単語をどう並べるか？（語順）

STEP 3

アウトプットする

発音やつづりなどを確認して、言ったり、書いたりしよう

- どう発音するか？
- どうつづるか？

3 適切な〈単語〉を選択しよう

表現したいことを意図した通りに伝えるには、次のような点に留意して、適切な単語を選びましょう。英語で表現するときには辞書が欠かせません。辞書を活用して、効果的に表現できるようになりましょう。

たとえば「健が卓球の試合に勝ってよかった」という内容を表現したい場合を見てみましょう。

① 和英辞典で「よい」を引いて、文脈に合った意味を考えましょう。この文の「よかった」は、次の①～⑤のどの意味が最も適切でしょう。

- ① 【好ましい】 good
- ② 【うれしい】 be glad, be pleased
- ③ 【望ましい】（…であればよいのだが） wish
- ④ 【…してもよい】 can, may 〈許可〉
- ⑤ 【…したらよい】 should 〈助言〉

*ここでは「うれしかった」とも言えます。②の意味が最も近いでしょう。

② 英和辞典を引いて単語の使い方と意味を確認しましょう。

glad [be glad (that 節) / to do] 〈人が〉…ということが […して] うれしい、(do は主に「見る、聞く、知る」を表す) : [be ~] 〈〈…を〉〉 うれしく思う

③ 例文や訳例を読んで意味や使い方を調べ、どういった文構造が使えるか判断しましょう。

I'm glad that my son graduated from college. 息子が大学を卒業できてうれしい。

I'm glad to say that ... …は喜ばしい、うれしいことに…

*glad を使って、I を主語にして I'm glad that ... や I'm glad to say that ... と表現すればよいことが分かります。that 以下に「健が卓球の試合に勝って (Ken won the ping-pong game)」の部分を入れるとよいでしょう。

1 導入：READY

スピーチ

人生・生き方 / 時制

課の学習内容の提示

活動内容とトピック、文法の観点でわかりやすく示します。

STAGE 1

Lesson 1

OriHime

分身ロボットを開発した吉藤健太朗さん。彼が高校生の頃に描いた夢は何だったのでしょうか。みなさんも将来の夢についてスピーチをしてみよう。



導入のやり取り

テーマに関するやり取りを行い、題材への意識を高めます。

READY



Think & Talk ロボットについて、話し合ってみましょう。

1. Have you ever seen any robots around you? If yes, what kind of robots?
2. Do you want robots talking to you? Why?
3. What kind of robots do you need? Why?



Introducing the Topic 健とメアリーはどうやって話しているのでしょうか。

1. Mary is talking to Ken through OriHime. (T・F)
2. Mary's nickname is OriHime. (T・F)
3. Mary is talking to Ken from her house. (T・F)

p.133



導入のリスニング

本課に入る前にテーマについての会話のリスニングを行い、知識や関心を高めます。

GET

Robots to Connect

自己紹介をしよう

A Going Deeper



▶ Going Deeper

QRコード(→詳細はp.6)
モデル文や「やり取りの表現」の
音声にアクセスし、テキストの一部
分を隠して表示するマスク機能など
を使って学習できます。
実際にアクセスしてお試しいた
だけます!



1 Listen

健とメアリーが OriHime の仕組みについて話をしています。



Points

- What can OriHime do?
- Who invented OriHime?
- What can we do through OriHime?

Points を
参考にしながら
聞いてみよう



Ken: Wow, look at that! What a cute robot! Hi, robot.
How are you?

Mary: It is my favorite. It can speak, move its head
and wave its arms.

Ken: Who invented it?

Mary: Yoshifuji Kentaro did. We call it OriHime.

Ken: What can you do with it?

Mary: OriHime can do lots of things for us. For
example, we can talk to other people, take
lessons, attend meetings, or work with others
even at home, through OriHime.

Ken: It is a good companion for us. I have wanted a
robot like this.

重要表現の確認

モデル文には、機能表現が含まれてい
ます。下線と番号を付し、ページ下部の
「やり取りの表現」でまとめています。

現在形 (be 動詞)

過去形

現在形 (一般動詞)

文法の確認

モデル文には、文法事項も含まれ
ています。引き出し線とともに、ポイ
ントを示しました。

現在完了形 (継続)

やり取りの表現

① 話しかける

- Hi, Ken. How are you? (こんにちは、健。元気ですか)
- Hello, Mary. I'm fine thank you, and you?
(こんにちは、メアリー。僕は元気だよ。君はどう?)

② 例を挙げる

- I have many things to do in my high school. For example, I'd like to study abroad and enjoy school festivals.
(私は高校時代にやりたいことがたくさんある。例えば、海外留学したり、文化祭を楽しみたい)
- I have various hobbies such as bicycle riding, piano and calligraphy.
(私には、例えば自転車乗りやピアノ、書道など、たくさんの趣味がある)

機能表現

モデル文中のやり取りに必要な表現や類似表現を、
体系的に扱っています。

TASK

前ページのダイアログの内容を踏まえて、あなたなら OriHime を、どんなときに、どんなふうに使っ
てみようと思うか。下線部を言い換えて、グループで意見交換してみよう。

A: When and what would you like to do through OriHime?

B: I have many things to do through OriHime. For example, I'd like to take lessons
when I'm absent because of an injury so that I can participate in the class and
understand well.

A: That's a good idea.

モデル文にならった言語活動

言語活動には、モデル文が示されており、内容を入れ替
えることで無理なく活動ができるようになっています。

2 Data

年表から情報を読み取って、下の①～③の空所に適語や数字を入れよう。

Points

- 小学 5 年生から中学 2 年生までをどう過ごしたか?
- 中学 2 年生の時の出来事は?
- 大学在学中に行ったことは?

グラフや図表の活用

年表や各種グラフ、図表などを読み取り、その内容
をまとめてやり取りの活動につなげます。

Short History of Yoshifuji Kentaro

1987	奈良県に生まれる
1998-2001	不登校になり、折り紙や漫画に熱中 (小学 5 年生～中学 2 年生)
2001	虫型ロボット競技大会で地区大会優勝、グランドチャンピオン大会で準優勝
2003	奈良県立王寺工業高校に進学、高校で電動車いすを開発
2004	高校生の科学技術自由研究のコンテスト JSEC で文部科学大臣賞
2005	科学技術のオリンピック ISEF でエンジニアリング部門 3 位受賞
2007	早稲田大学に進学
2010	人と人をつなぐ分身ロボット OriHime を開発

- Yoshifuji Kentaro did not go to school for about () years.
- In (), he took part in robotics contests and won prizes.
- During his college years, he developed a ().

TASK

データの内容を踏まえて、あなたならどんなロボットを作りたいか。その理由とともに、下線部を言
い換えて、グループで意見交換してみよう。

A: What kind of robot would you like to invent?

B: I would like to make a robot that can encourage me and give
me opinions on different issues. I don't have any brothers or
sisters, so I want to talk with one.

A: Great. With a robot, you can talk about your innermost feelings.

●innermost feelings 「心の内」



B Talk about It

やり取りのための準備

課題について、下の Share Your Ideas でやり取り活動を行う前に、モデル文を参考にして伝えたいことをまとめます。

1 Think for Yourself

話す材料を集めよう

語彙・表現リスト

● Sample Ideas を参考に、クラスの友達に「自分自身の紹介文」を書いてみよう。

p.135

Sample Ideas

名前	My name is Kato Ken. Please call me Ken. 私の名前は加藤健です。健と呼んで下さい。
趣味	My hobby is listening to music. My favorite musician is SEKAI NO OWARI. 私の趣味は音楽を聞くことです。私のお気に入りのミュージシャンは SEKAI NO OWARI です。
高校生活でやってみたいこと	I want to be a composer in the future, so I'll study music hard. 将来は作曲家になりたいので、音楽を一生懸命学ぶつもりです。

Your Ideas

名前	My name is
趣味	My hobby is
高校生活でやってみたいこと	I want to

やり取り活動

モデル文を参考に、ペアで意見交換を行います。この活動が、USE での言語活動への準備になります。

2 Share Your Ideas

ペアで意見を交換しよう

● 下の例にならって、下線を置き換えて、意見交換しよう。相手が言ったことに対して、を参考に応答しよう。



A How do you spend your free time?

B I enjoy listening to music. My favorite musician is SEKAI NO OWARI.

A I like them, too. What will you spend your high school days?

B I want to be a composer in the future, so I'll study music hard.

A That's nice.



会話に使える表現

やり取りで使える便利な表現を複数提示しています。これらの表現を使うことで、より自然で生き生きとした活動を行うことができます。

Tool Box

That's great. / That's fantastic. / That's amazing.

Do your best. / Try your best. / Go for it. / Good luck.



▶ Share Your Ideas

Grammar Focus

表現のための文法(時制)



▶ G.F.

▶ 時制(動詞の形)を選択する

① いつのこと?	過去のこと 〈過去形〉	現在のこと 〈現在形〉	未来のこと 〈will, be going to〉
② 進行中の動作	〈過去進行形〉	〈現在進行形〉	〈未来進行形〉
③ ある時点までの出来事	〈過去完了形〉	〈現在完了形〉	〈未来完了形〉

文法の例文と解説

モデル文や活動で扱った文法事項について、例文と簡潔な解説を提示しています。

A 未来を表す will, be going to

- ① They **will** graduate next year. (彼らは来年卒業する)【意志未来】
- ② I **will** buy a canned coffee. (缶コーヒーを買う) (will: ~しよう)【意志未来】
- ③ It **will** [is going to] rain tomorrow. (明日は雨になるだろう) (will [be going to]: ~: ~だろう)【推量】
- ④ He **is going to** go to a university in Tokyo. (彼は東京の大学に行くつもりだ) (be going to ~: ~するつもりだ)【意図・計画】

*未来のことを表すには、will や be going to の後に動詞の原形を置く。

TRY 私たちの 20 年後の生活について、下線を言い換えて、例を上げながら説明してみよう。

I think technological advances **will** greatly change our life in twenty years. For example, we **will** be able to travel between Tokyo and Osaka in just an hour by train.

● 進歩の例: enjoy a variety of entertainment at home / live longer thanks to medical progress

B これまでの経験などを表す現在完了形 (have+過去分詞)

- ① He **has** already **gone** to bed. (彼は、もう寝てしまった)【完了・結果: ~してしまった】
- ② I **have watched** that movie a few times. (その映画は 2~3 回見たことがある)【経験: ~したことがある/ ~ times: ~回】
- ③ I **have lived** in this city for nearly ten years. (私は 10 年間近く、この市に住んでいる)【継続: ずっと~している】
- ④ She **has been learning** the piano since she was very young. (彼女は幼いころからずっとピアノを習っている)【現在完了進行形 (have been+現在分詞)】

*過去に起きたことが現在まで影響していることを表すときには、現在完了形を使う。

TRY 海外旅行の経験の有無や行きたい国などについて、下線を言い換えて、ペアで話してみよう。

A: **Have you ever been** abroad?B: 1) Yes, I **have been** to Hawaii with my family. I **enjoyed** swimming at Waikiki Beach.2) No, I **have never been** abroad. I want to go to Greece to visit the Parthenon in the Acropolis some day.A: That sounds good.

文法の活用

モデル文の一部を入れ替える形で、文法事項を活用につなげます。アイデアのヒントも用意されています。

充実した文法学習のサポート

- ワークブック・評価問題・自動問題作成プログラム
文法の演習・評価のための問題を指導用データとして多数収録しています。
- 『コーパス・クラウン総合英語』との連携
文法例文は同一のものとし、詳細な解説を付しています。



One Point 「その映画は数年前に見たことがある」を英語に I (have watched / watched) that movie a few

USE

My Dream

将来の夢についてスピーチをしよう

USEでは、課ごとに「スピーチ、プレゼンテーション、ライティング、ディスカッション、ディベート」のうちの1つを扱います。



A Sample Speech p.97



▶ Sample Speech

1 Listen & Take Notes

聞いて、要点をとらえよう



● 吉藤健太郎さんが昔の自分を振り返ってスピーチをしています。発表を聞いて、メモを取ろう。

子供の頃、吉藤さんは…？	
その時に感じたことは？	
それを高校時代にどう克服したか？	
吉藤さんの今の夢は？	

活動のモデル文の確認

この課で行う活動のモデル文を聞き、**要点と構成**を確認します。実際に活動を行う前の準備段階です。

2 Listen for Details

聞いて、構成を確認しよう



● もう一度スピーチを聞いて、スクリプトの空所を埋め、話がどう展開しているか話し合おう。

① Opening あいさつ / 自己紹介 / スピーチのテーマなど

① Hello. ② My name is Yoshifuji Kentaro. Today ③ I'm going to tell you about something I did when I was a (①). ~するつもりだ

② Body 考え・理由など

When I was a child, I couldn't go to school for about three years. I felt very (②) in those days. In high school, I got through those difficulties by concentrating on my favorite things. I succeeded in inventing a new type of wheelchair and it won prizes in several (③). My aim is to invent something useful for lonely people.

③ Closing まとめを述べ、スピーチを締めくくる

I have been working for this purpose ever since. ④ Thank you for listening. 現在完了進行形

活動に使える表現

モデル文中には、この活動で使える便利な表現に下線が付されています。類似表現についても課末にまとめられており、参照しながら活動を行うことができます。

①～④の下線部は p.20 の Useful Expressions を見てね



段階を踏んだ活動

GETではテーマに関するやり取りを行い、USEでは伝えたい内容を**メモにまとめて**から、「型」に当てはめる形でアウトプットを行います。丁寧な段階を踏むことにより、無理なく活動を行うことができます。

B Presenting Your Ideas

1 Generating Ideas

話す材料を考えよう

● 「将来の夢」について簡単なスピーチをしてみよう。子供の頃から、どのような夢を持っているか、将来どんなことをしたいか、そしてその理由についてもメモしよう。

語彙・表現リスト

p.135

① 自分の将来の夢

② 考え・理由など

③ まとめ

スムーズな活動のためのサポート

● 活動ワークシート

書き込み式のワークシートを『サブノート』および教師用指導書に用意しました。

● スピーチのモデル動画 (→詳細は p.6)

QRコードからアクセスできるスピーチのモデル動画を用意しました。

2 Organizing

話の構成を考えて、英語にしてみよう



● 吉藤健太郎さんのスピーチも参考にして、あなたの将来の夢について、相手に伝わるように構成を工夫して、スピーチの原稿を英語で作成しよう。

① Opening あいさつ / 自己紹介 / スピーチのテーマなど

Hello. My name is _____.
Today I'm going to make a speech about my dream.

② Body 考え・理由など

My dream is to _____ in the future.
When I was a child, I was interested in _____. /
I have been interested in _____ since I was a child.
I want to _____.

③ Closing まとめを述べ、スピーチを締めくくる

I will do my best to realize my dream.
Thank you for listening.

3 Speaking

発表しよう



Q&A

- ① 自分の言いたいことが相手に伝わるように工夫して、ペアで発表し合ってみよう。
- ② 友達の発表を聞いて、メモを取ろう。
- ③ 友達の発表を聞いて、分からなかったことなどを質問してみよう。

例 Why were you interested in robots?
How will you make your dream come true?



▶ Sound Tips
▶ Useful Expressions

Sound Tips

強勢・音節

- ◆ 強勢と音節の感覚を身につけよう。語の強勢のある音節は、強め・長め・高めに発音します。太字の音節に強勢を置いて言ってみよう。
- name, talk / **won**-der, **prac**-tice, **hob**-by, **wheel**-chair, to-**day**, in-**vent**, at-**tend**, suc-**ceed** / **fa**-vo-rite, **lone**-li-ness, **dif**-fi-cult, de-**vel**-op, con-**clu**-sion / com-pe-**ti**-tion, ed-u-**ca**-tion
 - My **hobby** is **listening** to **music**.

【発音】[f]と[v]の練習

felt, difficult, invent, develop, favorite

Useful Expressions

スピーチに必要な表現

- あいさつ
 - **Hello. / Good afternoon.** (こんにちは)
- 自己紹介
 1. **My name is** Yamada Taro. (私の名前は山田太郎です)
 2. **Let me introduce myself.** (自己紹介させてください)
- スピーチのテーマを述べる
 - Today **I'm going to tell you about** my hobby. (今日は私の趣味についてお話しします)
- 締めくくりのあいさつ
 - **Thank you for listening.** (ご清聴、ありがとうございました)

活動に使える表現

この課の活動で使える便利な表現をまとめて提示しています。参照しながら活動を行ったり、活動後に確認をしたりすることができます。

補充の活動テーマ

補充のミニ活動のコーナーです。課で扱った活動について、取り組みやすいテーマがさらに用意されています。パフォーマンステストにもお使いいただけます。

Consolidation

Mini Speech

自分の好きなこと、尊敬する人物、行ってみたい場所の中から1つ選び、その理由をまとめて短いスピーチをしよう。

- 自分の好きなこと
(my favorite thing)



- 尊敬する人物
(a person I respect)



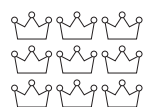
- 行ってみたい場所
(a place I want to visit)



Reflection

この課を振り返って、3段階で自己評価し、今後の目標を立てよう。

- 1 聞き手に分かりやすいように、大きな声で発表するよう心がけた。
- 2 スピーチに必要な表現を使おうと心がけた。
- 3 言いたいことが聞き手に伝わるように表現を工夫した。



活動の振り返り

活動を振り返ることで、自律的な学習を促します。

活動領域別の詳しい説明

巻末には、活動別に詳細に扱うProjectのコーナーを設け、本課の活動を行う際に適宜参照できるようにしました。

項目一覧

- Project ①:スピーチ
Project ②:プレゼンテーション
Project ③:ディスカッション
Project ④:ディベート
Project ⑤:ライティング

Project 1 Speech

My Hobby: Bouldering

- 「目的をもって人前で話をする」をパブリック・スピーキングと呼ぶが、パブリック・スピーキングにはスピーチとプレゼンテーションがある。ここでは、まずスピーチについて理解しよう。



スピーチを作成する手順

STEP I 分析と準備 (Analysis and Preparation)

スピーチの準備

テーマの選び方や話す内容の決め方などの手順を押さえます。

- 1 話題 (Topic)
 - あなたが興味を持っていて、楽しく話することができる話題のリストを作成する。
 - 聞き手が興味を持つ、あるいは聞き手の興味を喚起できそうな話題を選ぶ。
- 2 内容 (Knowledge)
 - 話す内容について、キーワード (key words) をできるだけ多くメモする。
 - キーワードを取捨選択し、関連するものをまとめる。
 - 事実 (fact) と自分の意見 (opinion) を区別し、話す内容を決める。
- 3 制限時間 (Time Limit)
 - 制限時間を把握する。
- 4 聞き手 (Audience)
 - 聞き手が、どのような集団 (興味・年齢・人数など) であるかを把握する。

STEP II 構成 (Organization)

スピーチの構成

「序論」「本論」「結論」というスピーチの構成を確認します。

- 以下の構成を念頭に原稿 (draft) を書こう。

- 1 序論 (Introduction)
 - 聞き手に自分を印象づけ、話題について自分の考えを述べる。
 - ① 自己紹介 (省略する場合もある)
 - ② 聞き手の興味を喚起する
 - ③ 話題の紹介をする
- 2 本論 (Body)
 - 主張を支えるポイント (事実や考え) を述べる。
- 3 結論 (Conclusion)
 - スピーチを締めくくる。
 - ① 短いスピーチの場合: Thank you for listening. / Thank you very much for your attention. などで結びとする。
 - ② 長いスピーチの場合: 話の概要や一番主張したいことなどを別の表現でまとめ、それをもう一度聞き手に伝え、最後に①の「短いスピーチ」の場合のような表現を加えて締めくくる。



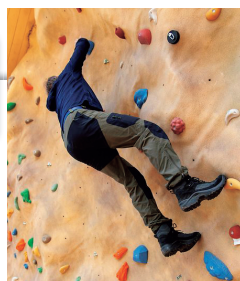
▶スピーチの具体例

Project 1 Speech

スピーチの具体例

スピーチの例

スピーチを行う際の参考となるモデル文を確認します。



- 「自分の趣味」について述べる以下のスピーチを参考にしながら、あなた自身の趣味についてのスピーチをしましょう。

My Hobby: Bouldering

Good morning, everyone. Today, I'm going to talk about what I'm most interested in now. It's bouldering.

Bouldering is an indoor climbing sport, and is sometimes called free climbing. We climb the wall by grabbing colorful projections on the wall one by one. Now let me tell you two fantastic aspects of this sport.

First, it's thrilling. Every time I reach out my hand to a projection and lift myself up, I feel like Spider-Man!

Second, it gives me a sense of achievement when I get to the top of the wall. I feel like I'm on top of the world.

I really like bouldering. It's now an essential part of my life. Why don't you come to our club and do it too? Thank you for listening.

4. projection 「突起」 6. reach out ～ 「(手を) 伸ばす」

和訳

私の趣味：ボルダリング／おはようございます。今日は私が今、一番興味を持っていることについてお話ししたいと思います。それはボルダリングです。／ボルダリングとは室内の登攀競技で、時にフリークライミングとも呼ばれます。私たちは、壁の色とりどりの突起を1つずつつかんで壁を登ります。さあ、この競技の2つの素晴らしい点をお話ししましょう。／第1に、スリルがあることです。突起に手を伸ばして自分の身体を引き上げる度に、自分がスパイダーマンになったような気がします。／第2に、壁の頂上まで登ると達成感が得られることです。自分が世界の頂点にいるかのように感じます。／私はボルダリングが大好きです。それは今や私の生活の一番重要な部分となっています。あなたも私たちのクラブに来て、ボルダリングを楽しみませんか。ご清聴、ありがとうございました。

Project 1 Speech

Useful Expressions

スピーチに役立つ表現

スピーチで使える便利な表現を、「序論」「本論」「結論」に分けて示しています。

1 序論 (Introduction)

- あいさつ
- 自己紹介 (省略可)
- 聞き手の注意を引きつける
- トピックを述べる
- 主張を述べる
- Good morning/afternoon. (おはようございます/こんにちは)
- My name is ～. (私の名前は～です)
- Have you ever heard of ～? (～について聞いたことがありますか?)
- Today I'm going to talk about ～. (今日は～について話します)
- I'd like to tell you that ～ (～と言いたいと思います)

2 本論 (Body)

- メイン・アイデアを提示する
- 次のポイントに移ることを伝える
- Let me give/tell you three reasons. First, ～. Second, ～. Third, ～. (3つの理由を挙げます。第1に～、第2に～、第3に～)
- On the one hand, ... On the other hand, ～ (一方～, 他方～) / However, ～ (しかしながら～) / In [By] contrast, ～ (対照的に～)

3 結論 (Conclusion)

- 自分の意見を再び述べて、スピーチを締めくくる
- 挨拶
- In conclusion, I would like to say that ～. (結論として、～と言いたいと思います)
- Thank you for listening. (ご清聴、ありがとうございました)

Question Corner (聞き手から)

聞き手が使える表現

質問や発言の確認など、聞き手として使える表現を示しています。

1 質問したい

- Let me ask you a question. My question is about ～. (1つ質問をさせてください。私の質問は～についてです)

2 話し手が言ったことの意味を確認したい

- You said/mentioned ～. What do you mean by that? (～と言われましたが、それはどういう意味ですか)

3 詳細な説明を求めたい

- Can you explain more about ～? (～について、もう少し説明してもらえますか)
- Can you give me a few examples of ～? (～の例を2、3挙げてもらえますか)

4 理由・根拠について質問したい

- You said/mentioned ～. Why do you think so? (～と言われましたが、なぜそう思うのですか)

5 話し手の言ったことを確認し、自分の意見を述べる

- You said/mentioned ～, but I think ... because ... (～と言われましたが、私は…だと思います。なぜなら…だからです)

Your Turn

スピーチの実践

提示されたスピーチの「型」に沿って内容を埋めることで、スムーズにスピーチ活動を行うことができます。

- p. 98 のスピーチを参考にしながら、以下の①～⑤にしたがって、あなたの趣味を紹介しましょう。

- ① あいさつ・トピックの提示 : Good morning, everyone. Today, I'm going to talk about what I'm most interested in now. It's _____.
- ② その趣味の概略 : _____.
- ③ その趣味の特徴 : Let me tell you two fantastic aspects of _____.
● 特徴 1 : First, _____.
● 特徴 2 : Second, _____.
- ④ 結び : I really like _____. Why don't you _____?
- ⑤ あいさつ : Thank you for listening.

発表時の注意点

- 発表する際には以下の点に注意しよう。

1 ボイス・コントロール (Voice Control)

- 発音 (Pronunciation) ● Pronounce words as clearly and as smoothly as you can. (はっきり流暢に)
- 声の大きさ (Volume) ● Speak 1.5 times louder and slower than in a normal conversation. (いつもより大きな声で、ゆっくりと)
- 話す速さ (Speed)
- 声の抑揚 (Intonation) ● Say words and phrases at a varied pitch so that the speech has pleasing intonation. (声に高低の変化を持たせて)
- 話し方 (Delivery) ● Speak conversationally, as if talking to the audience. (聴衆に話しかけるように)
- Don't simply read your manuscript; use your prompt cards. (原稿を読むのではなく、メモを活用して)

2 ボディ・ランゲージ (Body Language)

- 姿勢 (Posture) ● Stand up straight and keep your head up. (姿勢よく、顔を上げて)
- アイ・コンタクト (Eye Contact) ● Look directly at the audience. (しっかり聴衆を見て)
- While speaking, shift your glance from one listener to another. (聴衆一人一人を見ながら)
- ジェスチャー (Gestures) ● Use appropriate gestures and facial expressions. (ジェスチャーや表情を適切に使って)
- 表情 (Facial Expressions)
- 態度 (Demeanor) ● Be relaxed and confident. (リラックスし、自信を持って)

スピーチのコツ

話し方や姿勢など、よりよいスピーチをするためのコツを示しています。

E-Book Readers



- ライティングの基本的な手順は Project 1 Speech で述べた「スピーチを作成する手順」(p. 97) と同じである。まず、テーマに沿って、読み手が興味を持つ、あるいは読み手の興味を喚起できそうな話題を選び、それを読み手に分かりやすく効果的に伝わるように構成し、文法や表現に気をつけながら書くということである。

パラグラフとは？

- 伝えたいことを筋道を立てて述べた文の集まりのことを「パラグラフ (paragraph)」と言う。内容を的確に伝える、つまり分かりやすく論理的な英文を書くには、「文章を構成する力」と「(書こうとする内容の) 情報を整理する力」が必要不可欠である。

パラグラフ構成

ライティングの基本となる、パラグラフの構成を押さえます。

パラグラフの構成要素

- 内容を的確に伝えるためには、以下の構成要素に注意してパラグラフを構成する必要がある。

- 1 導入文 (Introductory sentence) ● 主題 (topic) を導入する文。省略されることもある。
- 2 主題文 (Topic sentence) ● 最も述べたいこと (main idea) を提示する文。「1 つのパラグラフには main idea を 1 つにすること」が原則。
● あいまい、不明瞭な表現を避け、伝えたいことをズバリ主張する。
● 通例、パラグラフの冒頭に置かれることが多い。
- 3 支持文 (Supporting sentences) ● 主題文の内容を具体例で説明したり、根拠や理由を挙げたりして main idea を展開する文。通例、複数の文からなる。
● 主張と無関係な文を入れないように注意。
- 4 まとめ文 (Concluding sentences) ● 支持文を受けて、最後にもう一度主張して、印象を強く残す。



▶パラグラフの基本構成例
▶効果的なパラグラフの型を選ぶ

パラグラフの基本構成例

① Have you ever used an e-Book reader? ② E-Book readers are excellent devices for students. ③ These devices save students energy. Before e-Book readers, students had to carry many heavy books. However, e-Book readers are extremely lightweight. Also, they are wireless, so students can use them anywhere. ④ It is clear that e-Book readers can make students' lives much easier. If you haven't gotten one, you should get one as soon as possible.

①導入文

電子書籍端末を使ったことがあるだろうか。

②主題文

電子書籍端末は学生にとって優れた装置だ。

③支持文

学生にエネルギーを節約させる。(1) 電子書籍端末は非常に軽い。(2) ワイヤレスなので、どこでも使える。

④まとめ文

電子書籍端末が学生の生活を楽にできるのは明らかだ。持っていないければ、すぐに買った方がよい。

パラグラフ構成の具体例

モデル文を参考に、前ページで示されたパラグラフ構成の具体的内容を確認します。

効果的なパラグラフの型を選ぶ

1 列挙型 … 事実や考えをリストアップして伝える。

There are many ways you can enjoy yourself in Kurashiki, Okayama. **First**, it is well known for the aesthetic area. You can walk along the old streets, taking instagrammable photos. It is **also** a good city for looking at art. There is a great art museum, Ohara Museum of Art. You can see timeless masterpieces there. **Finally**, the food must be mentioned. On almost every street, you can find a good restaurant where you can get a wonderful meal.

2. aesthetic 「美の」

【和訳】岡山県倉敷の楽しみ方は多い。まず倉敷は美観地区で有名だ。古い街並みを歩き、インスタ映える写真を撮ることができる。また美術鑑賞にもいい街である。大原美術館というすばらしい美術館があり、不朽の名作を鑑賞することができる。最後に食べ物に触れておかねばならない。ほとんどすべての通りに良いレストランがあり、そこですばらしい食事が楽しめる。



パラグラフのパターン

内容別にふさわしいパラグラフのパターンを、具体例とともに3種類提示しました。

つなぎ言葉

よく使われるつなぎ言葉は太字で示し、次のページでまとめました。

2 比較・対照型 … 情報についての類似点や相違点を明らかにして伝える。

Many overseas visitors think that *kimono* and *yukata* are **the same** kind of clothing, but in fact they are **different**. First of all, they are made of **different** materials. *Kimono* are usually made of silk. **On the other hand**, *yukata* are made of cotton. There is **also** a seasonal **difference**. *Kimono* can be worn all year round, **but** *yukata* are typically worn during the summer. Finally, *kimono* are **more formal** than *yukata*. *Kimono* are often worn at special ceremonies, **while** *yukata* are worn as a bathrobe at places like hot springs.

【和訳】着物と浴衣は同じ種類の衣類であると思っている外国人訪問客が多いが、実際には異なっている。第一に、それらは異なる生地で作られている。着物はたいてい絹で作られているが、一方、浴衣は綿で作られている。また季節による違いもある。着物は一年を通して着られるが、浴衣は一般に夏に着られる。最後に、着物は浴衣よりフォーマルである。着物はたいてい特別な儀式で着用されるが、一方、浴衣は温泉のような場所で部屋着として着用される。

3 連続型 … 連続した出来事や手順を伝える。

Onsen are natural hot spring baths. If you want to visit an *onsen*, you should know some rules of etiquette for *onsen*. **First**, you must remember to clean yourself **before** you get into the bathtub. **Then** you can take a small towel into the bath room with you, but you mustn't let it go in the bathtub. **After** enjoying bathing, you can dry yourself with a large towel in the changing room.

【和訳】温泉は天然の熱い湯の風呂だ。温泉に行きたいならば、いくつかの温泉の礼儀作法を知っておくべきだ。まず、浴槽に入る前に忘れずに身体を洗わねばならない。次に、小さなタオルを持って浴室に入ってもよいが、それを浴槽に入れてはいけない。入浴を楽しんだ後は、脱衣場で大きなタオルを使って体を拭くことができる。

Your Turn

- p. 114 のパラグラフを参考にしながら、以下のテーマについてのあなたの考えを、パラグラフ（主題文、支持文、まとめ文）で書いてみよう。

Should Japanese university students study in English-speaking countries?

（日本の大学生は英語圏の国に留学すべきか）

- ① 主題文 _____
- ② 支持文 _____
- 理由・根拠 1 _____
- 理由・根拠 2 _____
- ③ まとめ文 _____

つなぎ言葉の例

- ① 列挙型
- first (第1に), second (第2に), third (第3に), finally (最後に)
 - also (その上), too (～もまた)
- ② 比較・対照型
- 類似 ● like (～のような), similar (類似した), the same (同じ)
 - 相違 ● but (しかし), however (しかしながら), while (ところが一方),
on the other hand (一方で), in contrast (対照的に)
 - 比較 ● more than ~ (～より多い), less than ~ (～より少ない),
bigger (より大きい), smaller (より小さい) など
- ③ 連続型
- 順番・手順 ● first (最初に), second (2番目に), then (次に), finally (最後に)
 - 時 ● before (～の前に), after (～の後に), while (～の間に)
 - for a year (1年間), in a month (1月後に), later (後に), until the 1980's (1980年代まで) など

英文ライティングの注意点

- ① 1文ごとに改行をしない。
*英文ライティングでは、意味のまとまりのあるパラグラフごとに改行する。
- ② 単語の途中で改行して、単語を2つに割らない。
- ③ パラグラフの先頭には半角3～5文字程度のスペースを入れる。
- ④ 引用や吹き出しを挿入する場合は「」ではなく、“”を使う。

ライティングの実践

提示されたパラグラフの「型」に沿って内容を埋めることで、スムーズにライティング活動を行うことができます。

つなぎ言葉

効果的な論の展開に必要なつなぎ言葉を、パラグラフのパターン別に示しました。

ライティングのコツ

よりよいライティングのためのコツを示しています。

英語表現のまとめ

課間の全3回で、よりよい表現のための注意点を示しました。簡単なチェック問題も用意されています。



項目一覧

- ①: 日本語と英語の発想の違い
②: 日本語と英語の意味のズレ
③: 誤解を招く語や表現

英語表現のまとめ ①

日本語と英語の発想の違いに注意しよう

1 動作動詞と状態動詞

Q: 「私は彼女の住所を知っています」を英語で表現したい場合、「I am knowing her address.」でよいでしょうか。

A: 「知っている」「持っている」といった〈状態〉の意味を表す動詞は、ふつう進行形にならないので、「I know her address.」と表現します。

● 2つの語句のうち、適当なほうを選びなさい。

1. 私は両親を愛しています。
I (a. love b. am loving) my parents.
2. 山田先生は外車を所有しています。
Mr. Yamada (a. owns b. is owning) an imported car.
3. 妹は音楽部に所属しています。
My sister (a. belongs b. is belonging) to the music club.

✓ TASK あなたが所属している部活動、その部に入った理由や目標などについて、下線部を言い換えて、グループでやり取りしてみよう。

A: What club do you **belong** to?

B: 1) I **belong** to the shogi club and practice hard every day. My dream is to participate in an international tournament.

2) I don't **belong** to any club. Though I'm busy with cram school, I'd like to join the soccer club.

A: Oh, that would be great.

2 自動詞と他動詞

Q: 「彼女は質問をするために、職員室に入りました」と言いたいとき、「She entered into the teachers' room to ask a question.」でよいでしょうか。

A: 「～に入る」の意味では enter は他動詞なので、直後に目的語となる名詞（この場合は the teachers' room）を置いて、「She entered the teachers' room to ask a question.」とします。

● 2つの語句のうち、適当なほうを選びなさい。

1. 彼は私のメールにすぐに返事をくれた。
He (a. replied b. replied to) my e-mail immediately.

One Point 「彼は床の上に横になった」を英語にすると？
He (laid / lay) down on the floor.

付録 1 表現のための文法



Lesson 1 時制 (p.13)

A 現在形

- ① She **is** a student at a girls' school. (彼女は女子高の生徒だ) (現在の状態)
- ② I **get up** at 6:00 every morning. (私は毎朝6時に起きる) (現在の習慣)
- ③ The teacher *told* the children that water **freezes** at 0°C.
(先生は子供たちに水は0度で凍ると教えた)
(不変の事実: 「時制の一致」の例外/°C=degree(s) centigrade)

B 現在進行形 (be+現在分詞)

- ① He **is watching** TV now. (彼は今、テレビを見ている) (現在進行中の動作)
- ② She **is doing** yoga these days. (彼女は最近、ヨガをやっている) (現在の反復動作)
- ③ They **are living** in temporary housing now. (彼らは今、仮設住宅に住んでいる) (一時的な状態)

C 過去形/過去進行形 (was/were+過去分詞)

- ① He **liked** a teddy bear when he was very young.
(彼は幼い頃、縫いぐるみのクマが好きだった) (過去の状態)
- ② She **left** school early today. (彼女は今日、学校を早退した) (過去の動作)
- ③ They **practiced** after school every day before the tournament.
(彼らは大会の前は、毎日放課後に練習した) (過去の習慣的・反復的動作)
- ④ I **was having** dinner when she called me. (彼女が電話をくれた時、私は夕食の最中だった)
(過去進行形: 過去のある時点で進行中・継続中の動作)

D 未来を表す: will, be going to など

- ① They **will** graduate next year. (彼らは来年、卒業する) (will: ~だろう) 【単純未来】
- ② I **will** buy a canned coffee. (缶コーヒーを買おう) (will: ~しよう) 【意志未来】
- ③ It **will [is going to]** rain tomorrow. (明日は雨になるだろう)
(will [be going to] ~: ~だろう) 【推量】
- ④ He **is going to** go to a university in Tokyo. (彼は東京の大学に行くつもりだ)
(be going to ~: ~するつもりだ) 【意図・計画】
- ⑤ She **is having** a baby next month. (彼女は来月、出産予定だ) (現在進行形: 計画・予定)
- ⑥ The new term **starts** on April 9th this year. (新学期は今年は4月9日から始まる)
(現在形: 確定した未来)

E 現在完了形 (have+過去分詞) 《完了・結果》

- ① He **has** already **gone** to bed. (彼は、もう寝てしまった)
(完了・結果: ~してしまった/already: もう (肯定文))
- ② **Have** you **finished** lunch yet? (もう昼食は済みましたか) (yet: まだ (疑問文・否定文))

巻末の補充文法例文

巻末には、本課で扱った文法項目以外にも取り上げました。
例文には、訳文と簡潔な解説を付しました。

『総合英語』との連携

各例文は『コーパス・クラウン総合英語』でも扱っています。
『総合英語』ではさらに多くの例文と詳細な解説を付していますので、各項目の理解を深めることができます。指導書には『総合英語』の対応ページを掲載します。

付録 3 語彙集 (Vocabulary)

豊富な活動用語彙集

巻末には、各課の活動で使える活動用の語彙や表現を掲載しました。
生徒の表現の幅を広げることができます。

Lesson 1 pp.13-20

OriHime

●中学時代の思い出

中学時代に ▶
(when I was) in/at junior high school
クラブ活動 [部活動] ▶
club activities
体育会系クラブ ▶
athletic/sports club
文系系クラブ ▶ cultural club
合宿 ▶ training camp
体育祭 ▶
athletic meet; field/sports day
文化祭 ▶ school festival
英語劇に出る ▶
take part in an English play
修学旅行でニュージーランドにホームステイする ▶
stay with a family in New Zealand during the school trip
ALTと話すのを楽しむ ▶
enjoy talking with an ALT (assistant language teacher)
体育祭のためにダンスの練習をする ▶
practice dancing for the athletic meet
スーパーマーケットで1日社会体験をする ▶
have 1-day work experience in a supermarket

●高校時代にやってみたいこと

新しい友達を作って様々な考え方を学ぶ ▶
make new friends and learn various ways of thinking
古文の勉強を頑張り、昔の人の考えを知る ▶
study Japanese classics hard and know the notions and ideas of Japanese people from long ago
バレーボールの練習を続け、大会に出る ▶
keep practicing volleyball and participate in the tournament
観光ガイドなどのボランティア活動に参加する ▶
be involved in volunteer activities such as visitors guide

●趣味・好きなこと

趣味 ▶ hobby; pastime; interest
本を読む ▶ read books
映画を見る ▶ watch movies
カラオケに行く ▶ go to karaoke
買い物 [釣り; 泳ぎ; キャンプ; サイクリング; ジョギング; スキー; スケート; バードウォッチング; ハイキング; ボウリング] に行く ▶
go shopping [fishing; swimming; camping; cycling; jogging; skiing; skating; bird-watching; hiking; bowling]
絵を描く ▶ paint/draw pictures
絵画を鑑賞する ▶
look at pictures/paintings
写真を撮る ▶
take photos/photographs/pictures
音楽を聞く ▶ listen to music
ピアノ [ドラム; フルート; ギター; バイオリン] を演奏する ▶
play the piano [drums; flute; guitar; violin]
編み物 [ガーデニング; 料理] を楽しむ ▶
enjoy knitting [gardening; cooking]
囲碁 [将棋; チェス; トランプ; テレビゲーム] をする ▶
play go [shogi; chess; cards; video games]
柔道 [剣道; 空手; 合気道; レスリング] をする ▶
do/practice judo [kendo; karate; aikido; wrestling]
サッカー [テニス; バドミントン; 野球; ラグビー; 卓球] をする ▶
play soccer/football [tennis; badminton; baseball; rugby; ping-pong/table tennis]

●将来の夢

科学者 [教師; 医師; 政治家] になる ▶
become a scientist [teacher; doctor; politician]
マラソンに出場 [完走] する ▶
run/do [complete] a marathon
オリンピックに出場する ▶
participate [take part] in the Olympics

金メダルを取る ▶

get/win a gold medal
人類に役立つものを発明する ▶
invent useful things for human beings
世界平和のために働く ▶
work for world peace

●職業

職業 ▶
occupation; vocation;
profession
会社員 ▶ office worker
事務員 ▶ office clerk
公務員 ▶
civil/public servant;
government/public worker/
employee
政治家 ▶
politician; statesman/
stateswoman
官僚 ▶ government official
弁護士 ▶ lawyer
裁判官 ▶ judge
検察官 ▶ prosecutor
警察官 ▶
police officer; policeman/
policewoman
刑事 [探偵] ▶ detective
消防士 ▶ fire fighter
会計士 ▶ accountant
僧侶 [聖職者] ▶ priest
料理人 ▶ cook/chef
喫茶店経営者 ▶
café [coffee shop] owner
パン屋 ▶ baker 〈人〉/bakery 〈店〉
ケーキ屋 ▶
pâtissier [pastry chef] 〈人〉/
cake shop/store 〈店〉
デザイナー ▶ designer
プログラマー ▶
computer programmer
画家 ▶ painter
アニメーター ▶ animator
漫画家 ▶
manga artist; cartoonist
イラストレーター ▶ illustrator
花屋 ▶
florist 〈人〉/flower shop 〈店〉
販売員 ▶
salesperson; salesman/woman
トリマー ▶ groomer
ブリーダー ▶ breeder
漁師 ▶ fisher; fisherman

教師用指導書・生徒用教材

■教師用指導書

【3分冊＋指導用各種データ＋授業用パワーポイント＋自動問題作成プログラム】

*詳しくは「指導書・教材案内パンフレット」をご覧ください。

各種資料をデータ化し、さらに使いやすくなりました！

①解説と指導編

- ・課ごとに「モデル文訳例」「文法解説」「文法の補充例文」「機能表現の補充例文」「音声スクリプト」「練習問題の解答」などを掲載。
- ・コミュニケーション活動の「指導法・手順」「複数の解答例」「ループリック」「補充の活動テーマの解答例」なども掲載。
- ・各課のテーマに関して、活動につながる解説なども掲載。

②Teacher's Book(分売でもお求めいただけます)

- ・簡潔な解説、活動の解答例、練習問題の解答、指導用CDのトラックナンバーなど、授業をするうえで必要な情報を教科書の体裁で掲載。

③指導用各種データ見本集

- ・ことまな学校サポートサイトよりダウンロード可能な各種データの紹介。

●指導用各種データ(ダウンロード)

[主な内容]

1. 活動用ワークシート

- ・教科書の活動を、段階を踏んで効果的に行うためのワークシート

2. 評価問題

- ・課ごとの複数パターンの「文法確認問題」
- ・定期テスト用問題
- ・リスニングテスト

3. 授業案

- ・教室英語や授業展開例など、英語で授業を行うための授業案

4. 授業用各種データ

- ・教科書本文
- ・日本語訳例
- ・文法の補充例文
- ・機能表現の補充例文
- ・活動用ワークシート／ループリック
- ・ワークブック・サブノート ほか

5. 「①解説と指導編」PDF版

6. 教科書紙面PDF版

7. 『コーパス・クラウン総合英語』PDF版

8. 提示用デジタルコンテンツ

●授業用パワーポイント(音声付き)

(詳細は本内容解説資料pp.6-7をご覧ください)

- ・効果的でテンポがよい「言語活動」「文法指導」の両方ができる授業用のパワーポイントデータ

●自動問題作成プログラム



教師用指導書・生徒用教材の詳細や紙面見本は、三省堂高校教科書ウェブサイトに掲載しています。



■指導用CD(MP3データをことまな学校サポートサイトよりダウンロードできます)

- ①Introducing the Topic(導入のリスニング音声) ②Listen(やり取りのモデル文) ③やり取りの表現
- ④Share Your Ideas ⑤Grammar Focusの例文 ⑥Sample Speech / Sample Presentation / Sample Writing / Sample Discussion / Sample Debate(活動のモデル文) ⑦Sound Tips
- ⑧Useful Expressions ⑨リスニングテスト音声 ⑩巻末付録「表現のための文法」例文 など

■生徒用教材

*詳しくは「指導書・教材案内パンフレット」をご覧ください。

●ワークブック(B5判 Google Formsの回答フォームに対応しています)

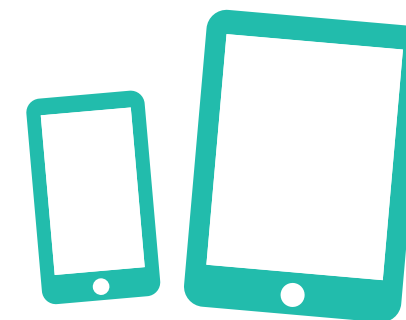
「文法」に特化し、基礎・基本の習得から、入試を意識した発展的内容までカバーしたワークブック。教科書の本課で扱っている以外の文法項目についても、例文と練習問題を掲載しています。

●サブノート(B5判)

「活動」と「文法」の両方をバランスよく扱ったノート。教科書の活動を効果的に行うためのワークシートを掲載。文法は基礎・基本の定着を図ります。

●英語学習アプリ「abceed」(詳細は本内容解説資料p.32をご覧ください)

教科書本文・例文を用いた4技能の学習ができます。



『コーパス・クラウン総合英語』

(A5判・704ページ(予定)、予価1,650円(本体1,500円＋税10%))

英語の「原理」を把握することでより深い理解へ導く、新しい「総合英語」です。

コーパスの全面採用により生きた英語で文法学習ができ、さらに発信型コラムで表現力も伸ばすことができます。

文法例文は教科書と同一のものを扱い、『総合英語』ではさらに多くの例文と詳細な解説を付しています。

*紙面のPDF版を教師用指導書に収録しています。



※上記の内容は変更になる可能性がありますので、予めご了承ください。
※早期使用校向けの移行教材もご用意できます。詳細はお問い合わせください。

教科書準拠デジタル教材のご案内

いま、新たな学びが動きだす。



三省堂の教科書・教材・辞書がAI英語教材「abceed」に対応！
GIGAスクール構想に対応した新しい英語学習のスタイルを提案します。



学習者の成績UP&先生の課題配信・評価を力強くサポート

●英語学習に必要な機能が勢揃い

辞書やMY単語帳、ディクテーションやシャドーイングなどの機能付き。

●豊富な問題形式で4技能を効率よく習得

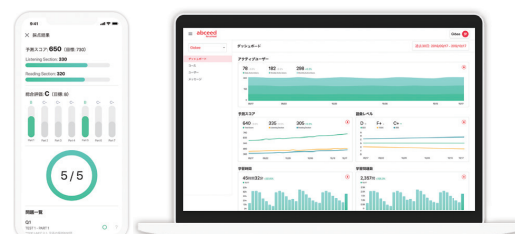
学習状況・スコアに合わせてAIで最適な問題をレコメンド。

●「abceed for school」で学習状況を管理

学習者の学習状況を自動集約。
課題配信や評価をもっと手軽に。

●準拠教材を活用して学習を深める

アプリ上では教科書準拠教材まで利用可能。
さらなる定着を促進。



選べる2つの使い方

① 使い放題プランで、教科書も辞書も教材も

教科書や辞書、教材まで使い放題のプランで、自学を徹底的にサポートします。

学習状況の管理だけでなく、課題配信まで可能！

準拠教材（一部）や指導書付属評価問題も使い放題となるため、教科書の学びをさらに深められます。

対応教材：教科書、準拠教材、辞書（ウィズダム英和・和英、エースクラウン英和）

対応機能：管理画面、課題配信

② 使いたい教科書を、エッセンシャルな機能で、より導入しやすく

より手軽に導入したい、教科書を使ったリスニングやスピーキングのトレーニングを行いたい、そんな声にお応えする、お手軽に導入いただける商品をご用意しました。

対応教材：教科書

対応機能：管理画面

年間指導計画一覧表

● CROWN Logic and Expression I

L=Lesson, P=Project

学期 (2学期)	学期 (3学期)	月	STAGE	課	タイトル	主な言語材料	題材／言語の使用場面	言語の働き	配当 時間	
I	I	4	1	L1	OriHime	時制	人生・生き方／スピーチ・学校生活	話しかける, 例を挙げる, あいさつする, 自己紹介する	5	
		5		L2	Breakfast Makes Perfect	助動詞	食生活と健康／プレゼンテーション・家庭生活	驚く, 出典を示す, 説明する, 締めくくる	5	
		L3		Cool Japan	受動態	日本文化／ライティング・家庭生活	説明する, 薦める, 話題を導入する	5		
		L4		Save Our Planet	不定詞	環境問題／ディスカッション・学校生活・地域での活動	問題点を伝える, 提案・勧誘する, 意見を求める, 意見を述べる	5		
		L5		Volunteer Work for What?	動名詞	ボランティア／ディベート・学校生活・地域での活動	相手の意図を確認する, 言い直す, 反論する, 主張と理由を述べる	5		
		7	英語表現のまとめ①					動作動詞と状態動詞, 自動詞と他動詞, 冠詞		
	II	9	2	L6	Another Life I Might Have Had	分詞	文学・読書／スピーチ・本を読むこと	驚く, 同意・共感する, 問いかける, 理由を述べる	5	
		10		L7	What Is Our Greatest Invention?	比較	サイエンス・発明／プレゼンテーション	話題を導入する, 推量する, 意見を述べる, 理由を述べる	5	
		L8		Discover Japan	関係詞	都市・観光／ライティング・	話題を導入する, 相づちを打つ, 説明する	5		
		11		L9	Urban Life or Rural Life	仮定法	交通・地域／ディスカッション	対比・逆接を表す, 感動を表す, 意見を述べる	5	
		12		L10	Music Without a Pianist	接続詞	芸術・テクノロジー／ディベート	驚く, 伝聞を伝える, 反論する	5	
12		英語表現のまとめ②					動詞, 名詞, 形容詞, 副詞			1
II	III	1	P1	My Hobby: Bouldering		スピーチ	注意をひく, 質問する, 説明を求める, 意見を述べる	3		
			P2	A Country I'd Like to Visit		プレゼンテーション	話題を導入する, 例を挙げる, 強調する, 結論を述べる, 要約する	3		
		2	P3	Are Zoos Necessary?		ディスカッション	発言を促す, 意見を述べる, 具体例を述べる, 賛成する, 反対する	3		
			P4	All Elementary School Students Should Have a Mobile Phone		ディベート	意見を述べる, 理由を述べる, 言い換える, 否定する	3		
		3	P5	E-Book Readers		ライティング	列挙する, 比較・対照する	3		
	3	英語表現のまとめ③					和製英語, くだけた表現・ていねいな表現, 日常会話表現			1
付録：表現のための文法, 音声スクリプト, 語彙集, 英語の句読法, 英語表現のまとめ[解答], 索引								配当時間合計	68	